

事業番号	223
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	こまき巡回バス運行事業						担当部	環境交通部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	交通防犯課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	交通空港係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		8 公共交通		2 公共交通機関を充実させる				
		副目的	8-3								
	予算区分	款	2	項	8	目	2	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	交通空白地域をカバーし、市民の公共施設へのアクセス手段を確保する。									
内容 (手段)	<p>交通空白地域と主要施設を結ぶバスを運行する《8コース(バス8台)》ため、利用状況や市民のニーズを把握しコース設定やダイヤ編成などを行う。  平成23年10月から、65歳以上の料金を無料化した。  運行時間:午前6時台～概ね午後8時台  《直近のコース・ダイヤの変更》平成22年4月 第2老人福祉センター(小針の郷)開設などに伴うコース・ダイヤを見直し。  【平成24年度直接経費の内訳】  こまき巡回バス運行委託料(139,984千円)  こまき巡回バス利用促進負担金(231千円)  【平成25年度直接経費の内訳】  こまき巡回バス運行委託料(140,700千円)  こまき巡回バス利用促進負担金(300千円)</p> <p>コース及びダイヤを含めた総見直しを平成25年度及び平成26年度の2カ年で行う。</p>										
受益者負担	<p>有</p> <p>料金:大人200円/日 小学生100円/日  高齢者(65歳以上)及び幼児無料。また、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を示せば、付添者(1名)とともに無料。</p>										

			単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	142,308	139,401	141,640
正職員			従事者数	人	0.35	0.35	0.35	0.35
			人件費	千円	1,865	1,865	1,865	1,865
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	144,173	141,266	143,505	145,620		
対前年比		%		97.9	101.5	101.4		
財源	一般財源		千円	119,073	122,066	129,926	132,072	
	国・県支出金		千円	1,440	0	0	0	
	その他財源		千円	23,660	19,200	13,579	13,548	

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	1日あたり運行車両数 (平日)	台	目標	8	8	8
実績				8	8	8	
業	1日あたり運行車両数 (土日祝日)	台	目標	8	8	8	
			実績	8	8	8	
業			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	年間利用人数	人	目標	312,000	318,000	358,000	365,000
実績			292,217	322,379	389,776		
業			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の達成状況	平成24年度については、1年間を通して65歳以上無料化が実施されたため、前年度より年間利用者は約21%増加した。なお、65歳以上の利用者は、年間利用者数全体の58%を占めている。	
	事業実施における課題	田県神社周辺などの味岡地区で住民から巡回バスの運行を望む声があるものの、運行台数やコースの状況により対応が出来ていない。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	巡回バスを廃止した場合、高齢者や障がい者障害者など交通弱者の移動手段を奪うこととなり、市民の日常生活に支障をきたす恐れがある。	
平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	デマンド交通実証実験を行わない市の中心部、西部及び南部においては、巡回バスの充実により住民の公共施設等へのアクセス利便性の向上を図ることとしている。コース及びダイヤを含めた総見直しを平成25年度及び平成26年度の2カ年で行うこととしているが、平成25年度に於いて対応できる見直しについては、早期に実施する予定である。	
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	採算性を理由に民間事業者が撤退した路線や地域住民が少なく民間事業者が運行し得ない路線については、行政に代わる運行主体は考えられず、今後、環境問題や高齢者の増加に伴う公共交通の必要性は高いことから、維持と判断した。	
	26年度以降の改善案	コース及びダイヤを含めた総見直しを平成25年度及び平成26年度の2カ年で行うこととしているが、ダイヤに関しては、現行1時間半から2時間に1本を1時間に1本に、自宅からバス停までの距離は、出来るだけ短くし、その目標値を500m以内と掲げている。また、25年度の見直しの中で26年度から対応可能なものは対応していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。デマンド交通の導入に伴い、巡回バスのコース及びダイヤの総見直しの検討を平成25・26年度の2カ年で行うこととなっており、検討結果を受けた事業規模の変化は、平成27年度以降となるため、平成26年度は、維持とする。